



OpenLab CDS ChemStation Edition

システムトポロジと アーキテクチャコンセプト



注意

マニュアル番号

M8305-96030
エディション 04/2019
Printed in Germany

著作権

© Agilent Technologies, Inc. 2019

本マニュアルの内容は米国著作権法および国際著作権法によって保護されており、Agilent Technologies, Inc. の書面による事前の許可なく、本書の一部または全部を複製することはいかなる形態や方法（電子媒体への保存やデータの抽出または他国語への翻訳など）によっても禁止されています。

Agilent Technologies
Hewlett-Packard-Strasse 8
76337 Waldbronn

ソフトウェアリビジョン

このガイドは、OpenLab CDS ChemStation Edition のリビジョン C.01.10 に対応しています。

保証

このマニュアルの内容は「現状有姿」提供されるものであり、将来の改訂版で予告なく変更されることがあります。Agilent は、法律上許容される最大限の範囲で、このマニュアルおよびこのマニュアルに含まれるいかなる情報に関しても、明示黙示を問わず、商品性の保証や特定目的適合性の保証を含むいかなる保証も行いません。Agilent は、このマニュアルまたはこのマニュアルに記載されている情報の提供、使用または実行に関連して生じた過誤、付随的損害あるいは間接的損害に対する責任を一切負いません。Agilent とお客様の間に書面による別の契約があり、このマニュアルの内容に対する保証条項がここに記載されている条件と矛盾する場合は、別に合意された契約の保証条項が適用されます。

技術ライセンス

本書で扱っているハードウェアおよびソフトウェアは、ライセンスに基づき提供されており、それらのライセンス条項に従う場合のみ使用または複製することができます。

権利の制限

米国政府の制限付き権利について：連邦政府に付与されるソフトウェアおよび技術データに係る権利は、エンドユーザーのお客様に通例提供されている権利に限定されています。Agilent は、ソフトウェアおよび技術データに係る通例の本商用ライセンスを、FAR 12.211 (Technical Data) および 12.212 (Computer Software)、並びに、国防総省に対しては、DFARS 252.227-7015 (Technical Data

-Commercial Items) および DFARS 227.7202-3 (Rights in Commercial Computer Software or Computer Software Documentation) の規定に従い提供します。

安全にご使用いただくために

注意

注意は、取り扱い上、危険があることを示します。正しく実行しなかったり、指示を遵守しないと、製品の破損や重要なデータの損失に至るおそれのある操作手順や行為に対する注意を促すマークです。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、**注意**を無視して先に進んではなりません。

警告

警告は、取り扱い上、危険があることを示します。正しく実行しなかったり、指示を遵守しないと、人身への傷害または死亡に至るおそれのある操作手順や行為に対する注意を促すマークです。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、**警告**を無視して先に進んではなりません。

本書の内容

このマニュアルでは、OpenLab CDS ChemStation Edition のシステムトポロジとライセンスのコンセプトについて説明します。

表 1 このドキュメントで使用する用語と略語

用語	説明
AIC	Agilent 機器コントローラ
CDS	クロマトデータシステム
ChemStation	OpenLab CDS ChemStation Edition
コントロールパネル	OpenLab Control Panel
Microsoft コントロールパネル	Microsoft Windows オペレーティングシステムの一部
Secure Workstation	Secure Workstation for OpenLab CDS ChemStation Edition

目次

1	システムトポロジ	5
	概要	6
	ワークステーション	7
	ネットワークワークステーション	8
	分散システム	9
	分散システムにおける ネットワーク接続されたワークステーション	12
	アップグレード中の下位互換性	14
	ChemStation と OpenLab CDS 2.x が 混在する環境	16
2	ライセンスについて	20
	一般製品構成	21
	ライセンスタイプ	23
	ライセンス方式	24
	Flexera ライセンスマネージャ	26
	ライセンスアップグレード	27
3	付録	30
	営業およびサポートのお問い合わせ先	31



1 システムトポロジ

概要	6
ワークステーション	7
ネットワークワークステーション	8
分散システム	9
分散システムにおける ネットワーク接続されたワークステーション	12
アップグレード中の下位互換性	14
ChemStation と OpenLab CDS 2.x が 混在する環境	16

概要

OpenLab CDS ChemStation Edition には以下のソフトウェアとインターフェイスモジュールが含まれています。

- OpenLab Control Panel

OpenLab Control Panel は、OpenLab CDS コンポーネントおよび Shared Services の管理機能へのアクセスを提供するユーザーインターフェイスです。

- Shared Services

これらのサービスは、セントラルアクセス、セントラルコンフィグレーション、ラボステータスの一覧表示、および機器のリモートコントロールを提供します。セントラル機能は、すべての OpenLab モジュールで使用することができます。

- 機器コントロール、データ取込およびデータ解析モジュール
- レポート（クラシックおよびインテリジェントレポート）
- ファイルシステムまたは中央データ記憶領域（OpenLab Server により提供される Content Management）

ワークステーション

ワークステーションでは、すべてのコンポーネント（Shared Services、コントロールパネル、機器コンフィグレーション、メソッド、シーケンスおよびデータファイル）が同じコンピューターにインストールされます。

以下の図に、ChemStation ワークステーションのコンフィグレーションを示します。1 台のワークステーションに複数の機器を持つことができます（『OpenLab CDS ChemStation Edition 要件ガイド』を参照）。

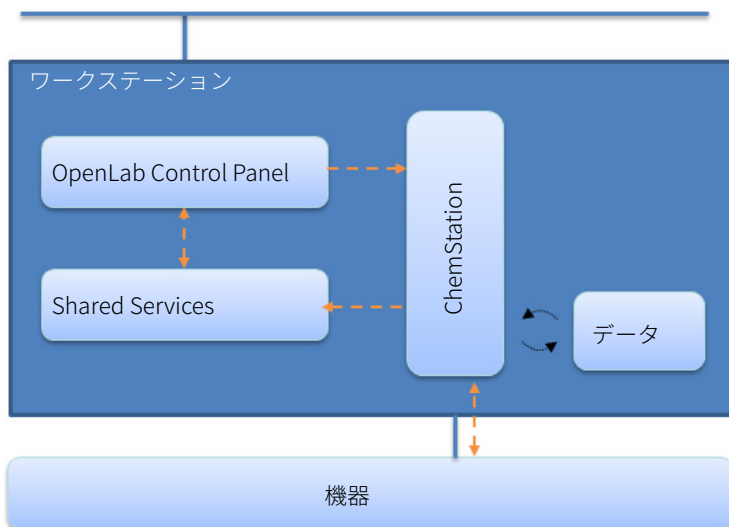


図 1 ChemStation ワークステーション

— LAN

↔ データのアップロードとダウンロード

⇄ 論理通信

ネットワークワークステーション

ネットワークワークステーションのコンセプトは、ユーザー、ロール、およびライセンスを集中管理します。任意のネットワークワークステーションから機器ステータスを表示できます。ただし、機器を設定したPCからのみ機器をコンフィグレーションし起動できます。

ネットワークワークステーションの構成を以下の図に示します。複数のワークステーションをネットワークワークステーションシステムに含めることができます。図には1つのChemStation インスタンスのみが示されていますが、同じマシンに複数のインスタンスおよび関連機器のコンフィグレーションを行うことができます。

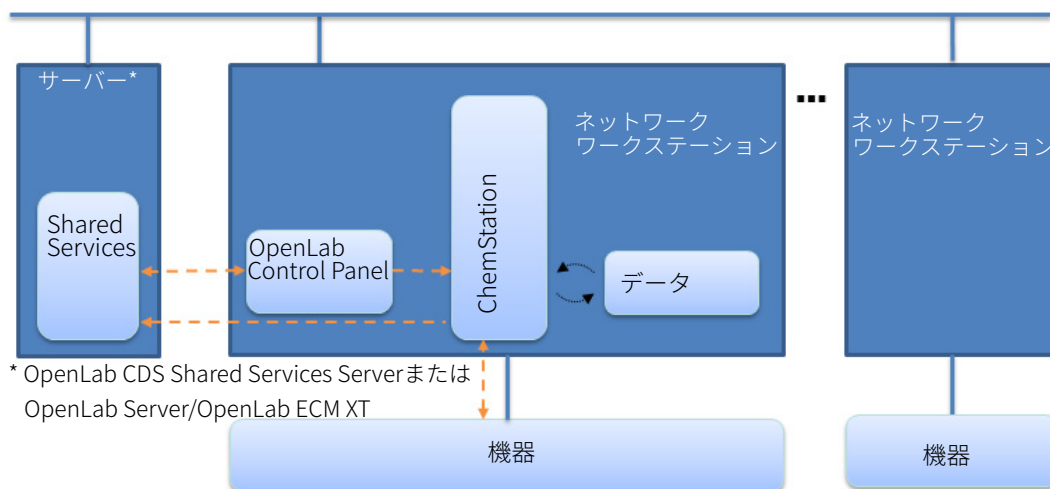
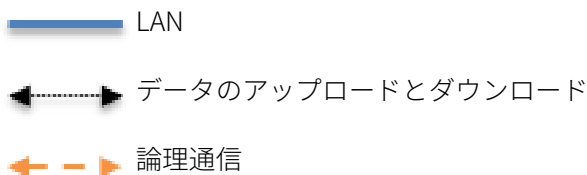


図2 ChemStation ネットワークワークステーション



OpenLab CDS ChemStation Edition ネットワークワークステーション 構成は、中央データ記憶領域を使用する場合でも、使用しない場合でも使用できます。中央リポジトリに接続されている場合は、ワークステーションに保存したデータが中央リポジトリと同期されます。中央データ記憶領域のある ChemStation の詳細については、『Content Management システム付き OpenLab CDS ChemStation Edition 管理者ガイド』（CDS_CS_withCM-admin.pdf）を参照してください。

OpenLab ECM 3.x システムの場合、ECM アカウントごとに独立した Shared Services サーバーが必要です。

分散システム

分散システムとしてインストールされた OpenLab CDS ChemStation Edition は、システム内のどの ChemStation クライアント PC からでも機器にアクセスできます。

ネットワークワークステーションのシステムと同様に、OpenLab Control Panel ではシステム内のすべての機器の概要が示されます。任意の ChemStation クライアントから、Shared Services によって提供されるすべての情報にアクセスできます。たとえば、機器の使用状況、ロケーション、およびステータス（オンライン、オフライン、エラー、実行中、ノットレディなど）を確認できます。

ネットワークワークステーションのインストールとは異なり、分散システムでは任意の ChemStation クライアントの PC から任意の機器のコンフィグレーション、起動およびコントロールを行えます。

分散システムコンフィグレーションでは、機器セッションでさらに柔軟な作業が行えます。オンライン機器を起動し、シーケンスを開始し、機器が機器コントローラ (AIC) マシン上で実行し続ける間に、ChemStation クライアントを切断することができます。後で任意のユーザーが、任意のクライアントから再びこの機器に接続し、オンライン機器の操作を完了したりデータを解析したりできます。

注記

分散システムでは、OpenLab Server/OpenLab ECM XT または OpenLab ECM 3.x が必要です。

ChemStation 分散システムでは、機器は AIC によって制御されます。AIC は、Windows Server です。各 AIC が、最大 10 台の機器を制御できます。AIC マシン上の ChemStation インスタンスには、任意の ChemStation クライアントからアクセスできます。ChemStation クライアントと AIC の間の接続には、リモートデスクトップサービスが透過的に使用されます。ChemStation クライアントを切断すると、リモートデスクトップ接続も切断されます。ChemStation は引き続き AIC で実行されます。リモート機器コントロール、セッションの引き継ぎ、セッションの切断、または強制終了の詳細については、『OpenLab CDS ChemStation Edition コンセプトとワークフローガイド』(CDS_CS_concepts.pdf) を参照してください。

OpenLab CDS ChemStation Edition の分散システム構成には、中央データ記憶領域が含まれます。各 AIC に取り込まれるデータは、中央リポジトリにアップロードされます。中央データ記憶領域のある ChemStation の詳細については、『Content Management システム付き OpenLab CDS ChemStation Edition 管理者ガイド』(CDS_CS_withCM-admin.pdf) を参照してください。

次の図は、OpenLab ECM 3.x のある ChemStation のシステムアーキテクチャを示しています。OpenLab Server/OpenLab ECM XT により提供される Content Management を使用する場合、Content Management と Shared Services は 1 つのサーバーにインストールされます。OpenLab ECM 3.x システムの場合、ECM アカウントごとに独立した Shared Services サーバーが必要です。

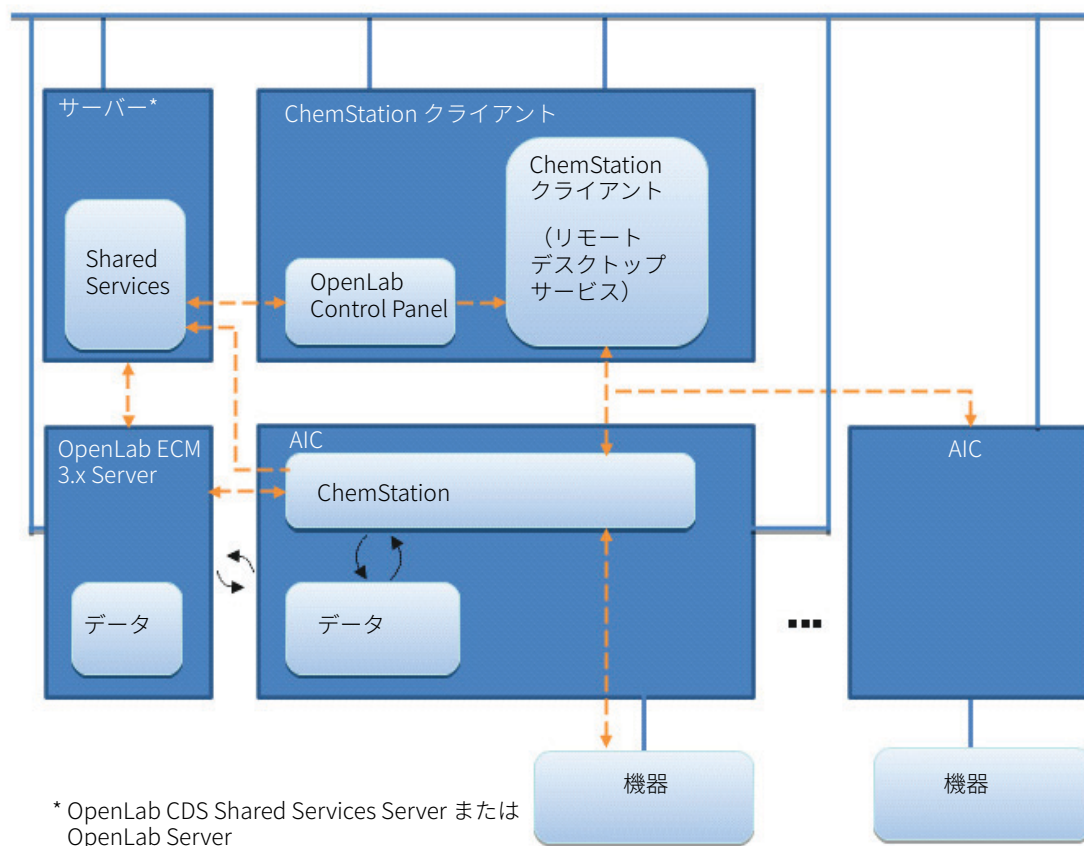
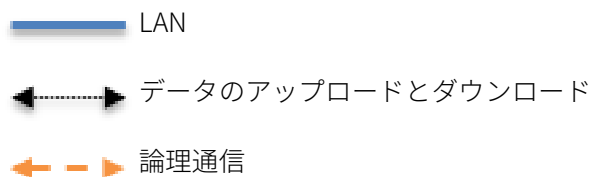


図3 ChemStation および OpenLab ECM 3.x のある分散システム



分散システムにおける ネットワーク接続されたワークステーション

AIC で機器を管理することができない場合、あるいは機器を分離したり、1 台のコンピューターで管理したりする必要がある場合、1 つまたは複数の ネットワークワークステーションを分散環境に追加することができます。

13ページ 図4に、1 つのネットワークワークステーション、1 つの ChemStation クライアント、1 つの AIC、および中央データ記憶領域により構成される混合トポロジを示します。このトポロジには、複数の ネットワークワークステーション、複数のクライアント、および複数の AIC を備えることが可能です。

混在環境では、このワークステーション上でコンフィグレーションされたすべての機器にネットワークワークステーションからアクセスすることができます。また、AIC 上でコンフィグレーションされた任意の機器のクライアントとしてネットワークワークステーションを使用することも可能です。反対に、ネットワークワークステーション上でコンフィグレーションされた機器は、分散システムの ChemStation クライアントでは制御することはできません。

ChemStation エディションと EZChrom エディション両方のシステムを同一の OpenLab CDS Shared Services Server で制御することはサポートされていません。

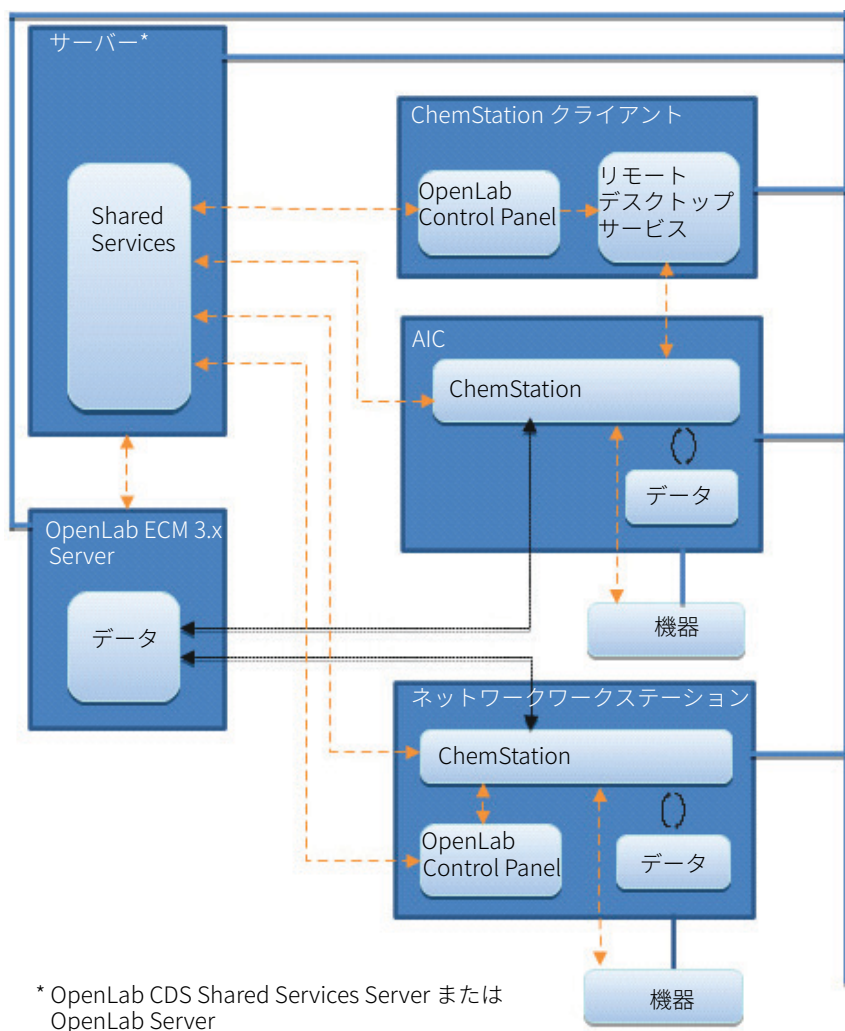
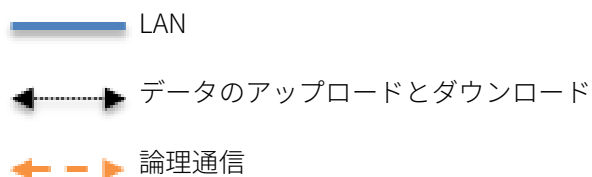


図 4 ChemStation と OpenLab ECM 3.x が混在するトポロジ



アップグレード中の下位互換性

下位互換性は、OpenLab CDS ChemStation Edition リビジョン C.01.06 で導入されました。データシステムの既存バージョンと新しいバージョンを同一のネットワークシステムまたは分散システムで持つことにより、アップグレード中のラボ操作を可能にし、ラボのダウンタイムを最小限に留めます。異なる複数のバージョンがある環境の使用は、アップグレード中のみにしてください。古いクライアントやワークステーションが、新しいクライアントまたはワークステーションで作成されたデータにアクセスしたり、それを再解析しないようにするためです。

アップグレード中、コントロールパネルの **【機器】** タブおよび **【プロジェクト】** タブは、既存のリビジョンでも機能します。アップグレード前に設定されて実行していた機器の開始と操作ができます。ユーザーの追加やパスワードの変更などの管理タスクは、新しいリビジョンのソフトウェアで実行する必要があります。その他の機能は、システムのアップグレードが完了するまでは一切サポートされません。

以下の表は、アップグレード時の ChemStation エディションと OpenLab Shared Service Server との互換性を示したものです。

	OpenLab CDS Shared Services Server 2.2	OpenLab CDS Shared Services Server 2.3	OpenLab CDS Shared Services Server 3.2
ChemStation C.01.08	はい	はい	はい
ChemStation C.01.09	はい	はい	はい
ChemStation C.01.10	はい	はい	はい

以下の表は、アップグレード時の ChemStation エディションと Content Management および OpenLab Server/OpenLab ECM XT との互換性を示したものです。

	OpenLab Server 2.2	OpenLab Server 2.3 または OpenLab ECM XT 2.3	OpenLab Server 2.4 または OpenLab ECM XT 2.4
ChemStation C.01.08	はい	はい	はい
ChemStation C.01.09	はい	はい	はい
ChemStation C.01.10	はい	はい	はい

注記

アップグレード中は、さまざまなリビジョンを使用できます。Agilent では、同じバージョンのソフトウェアへのインストールをお勧めしています。取込とデータ解析は、最後の再解析に使用したバージョンのソフトウェア上、およびそれより新しいバージョンのソフトウェア上でサポートされています。

ChemStation と OpenLab CDS 2.x が混在する環境

OpenLab Server 2.x のある環境では、ChemStation C.01.10 と OpenLab CDS 2.x の両方のクライアントおよび AIC の使用をサポートしています。サポートされるサーバー バージョンの詳細については、「[アップグレード中の下位互換性](#)」 14 ページを参照してください。

すべての機器が任意のクライアントまたはネットワークワークステーションで表示されます。

ルーチン作業

ルーチン作業中は、ChemStation AIC によって制御される機器には ChemStation クライアントを使用してアクセスし、OpenLab CDS AIC によって制御される機器には OpenLab CDS クライアントを使用してアクセスします。データストレージは OpenLab Server によって提供されます。ChemStation 環境と OpenLab CDS 環境は同じストレージを共有します。

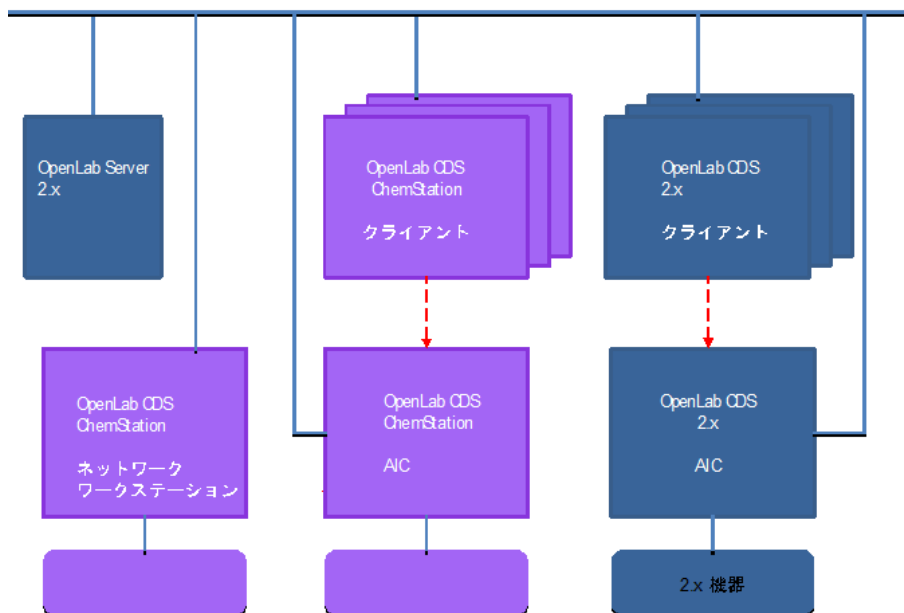
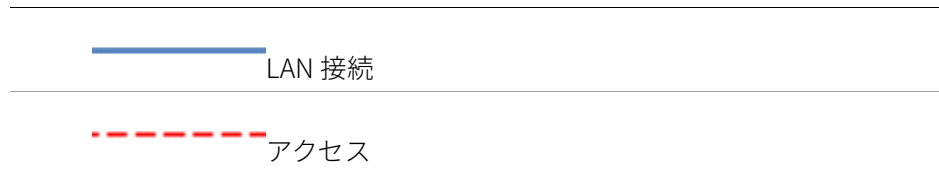


図 5 ChemStation C.01.10 および OpenLab CDS 2.x を用いたルーチン作業



OpenLab Control Panel の機器構造を使用すると、機器を区別するのに役立ちます。

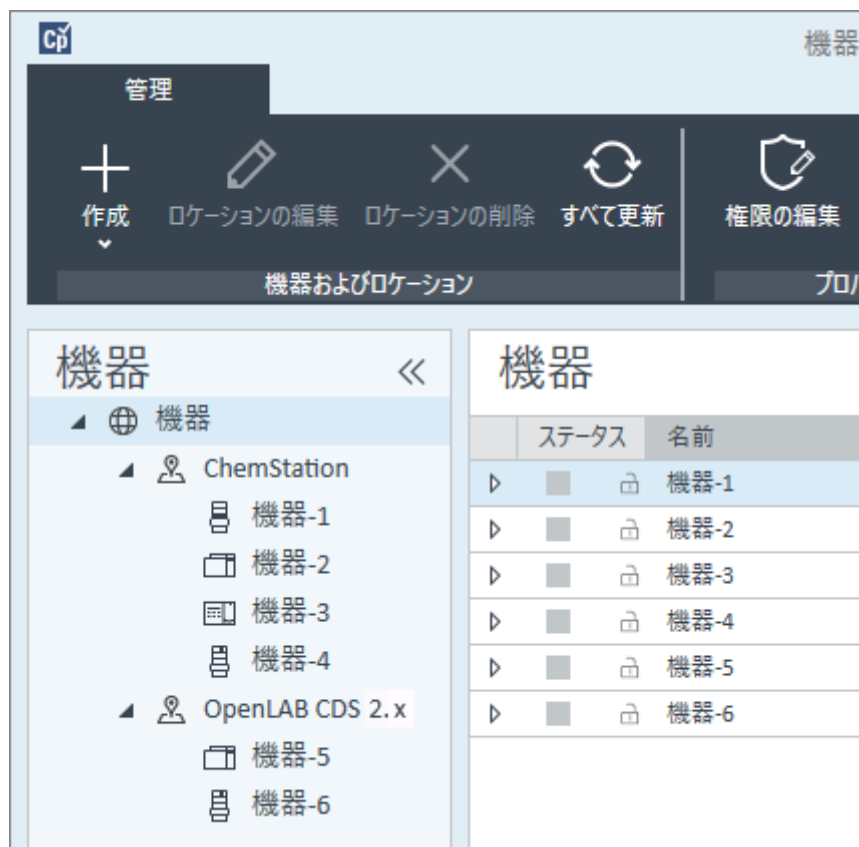


図 6 機器構造例

マイグレーション

混在環境では、ChemStation システムから OpenLab CDS 2.x へ測定メソッドの設定値を転送できます。

- 1 ChemStation AIC と OpenLab CDS 2.x AIC の両方で同じ機器をコンフィグレーションします。
- 2 ChemStation クライアントから機器を起動し、測定メソッドの設定値を機器にアップロードします。ChemStation を終了します（切断するだけでは十分ではありません）。
- 3 OpenLab CDS 2.x クライアントから同じ機器を起動し、測定メソッドの設定値を機器からダウンロードします。新しいメソッド名で保存します。

ChemStation クライアントから再度機器を起動する前に、機器の接続を終了します。

注意**さまざまなシステムからの機器アクセス**

機器にアクセスできない場合があります。

- ✓ 必ず同じシステムから機器の起動と終了を行ってください。ChemStation から機器を起動して OpenLab CDS から終了したり、またはその逆を行わないでください。

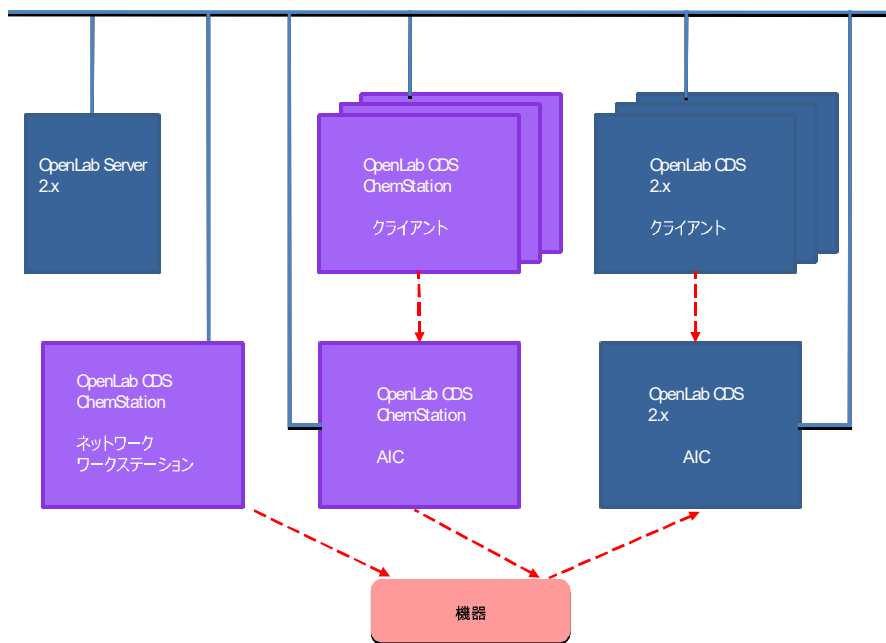


図 7 ChemStation C.01.10 から OpenLab CDS 2.x へのメソッド設定値の転送

—— LAN 接続

- - - - アクセス/転送

転送は一方通行です。転送後は、OpenLab CDS 2.x システムで ChemStation メソッドを使用できます。OpenLab CDS 2.x から ChemStation へ測定メソッドを転送したり、OpenLab CDS 2.x データを ChemStation で処理したりすることはできません。

詳細については、『Migrating from OpenLab CDS ChemStation Edition to OpenLab CDS Version 2.3 - Workstation to Workstation guide』

(MigrationGuide_OpenLabCDSChemStnToCDS2.3.pdf、OpenLab CDS リビジョン 2.3 で入手可能) を参照してください。



2 ライセンスについて

一般製品構成	21
ライセンスタイプ	23
ライセンス方式	24
Flexera ライセンスマネージャ	26
ライセンスアップグレード	27
アップグレード済みライセンスファイルの取得	27
システムへのアップグレード済み ライセンスファイルの追加	29

一般製品構成

OpenLab CDS ChemStation Edition は、機器コントロール、データ取り込みとデータ解析（積分、定量、レポート）、自動化およびカスタマイズのための複合ソフトウェアモジュールとして設計されています。測定器特有のシングル機器製品は、たとえばガスクロマトグラフ、または液体クロマトグラフなど、一定の分離テクニックをコントロールする機能を提供します。シングル機器コンフィグレーションは、ソフトウェアモジュールを追加すること（アドオン）で拡張することができます。

以下のセクションでは、製品モジュールについて説明します。製品ライセンスについての詳細は、「[ライセンス方式](#)」24 ページを参照してください。

コアモジュール

コアモジュールではデータ分析、自動化およびカスタマイズの各機能（機器コントロールを除く）を以下の機器タイプで使用可能です。

- ガスクロマトグラフィ（GC）
- 液体クロマトグラフィ（LC）
- 外部イベントプロトコルを持つアナログデータ取り込み（A/D）
- キャピラリ電気泳動（CE）

機器ドライバ

特定の機器タイプ向けの単一機器ドライバで、上記の機器をコントロールすることが可能です。複数の機器ドライバをインストールすると、例えば2つのLC、2つのGC、またはLC および GC といったような、複数の分析システムを Agilent OpenLab CDS ChemStation Edition でコントロールすることができます。

OpenLab CDS ChemStation Edition の機器コントロール機能として、異なるタイプのコンフィグレーションになるように追加モジュールを購入して拡張することが可能です。

アドオン

取り込んだデータは、通常2次元（「2D」）です。つまり、検出器レスポンスを経時的に測定しています。スペクトル検出器は、検出器レスポンスを第3の軸（波長または質量範囲など）にわたり追加して測定することで、3次元（「3D」）データを作成できます。

3D データの場合は、以下のモジュールにより分析とレポートを行うことができます。

- OpenLab CDS 3D UV アドオン
- OpenLab CDS ChemStation CE 3D MS アドオン
- OpenLab CDS ChemStation LC 3D MS アドオン
- OpenLab CDS ChemStation LC/MS デコンボリューションおよびバイオアナライザ

ライセンスタイプ

OpenLab CDS ChemStation Edition で導入されたライセンス方針では、ライセンスをより効率的に使用できます。B.04.xx ChemStation リビジョンとは異なり、機器コントロール、ドライバ、およびアドオンのライセンスは、**フローティングライセンス**になっています。機器は、起動時にライセンス管理から必要なライセンスを要求し、終了時にライセンスを戻します。そのため、インストールした機器ごとに1つのライセンスではなく、同時に実行する最大数の機器を取り扱うライセンスだけを購入すればよいことになります。ライセンス管理には OpenLab Control Panel からアクセスします。

以下の2つのタイプのライセンスがあります。

- **カウントライセンス**は、関連ソフトウェアまたは機器モジュールごとに1つ使用されます。
- **共有ライセンス**は、PC または機器ごとに共有可能です。たとえば、Agilent OpenLab CDS コアライセンスは共有ライセンスです。つまり、PC でいくつの ChemStation または EZChrom インスタンスを実行しているかに関わらず、PC 1 台に必要なライセンスは1つのみです。

60 日間有効のスタートアップライセンスを、すべての OpenLab CDS ChemStation Edition のインストール用に用意しています。期限の開始日はインストールした日付となります。

ライセンス方式

25ページ 図8 に、さまざまなインストール状況に応じた OpenLab CDS ChemStation Edition のライセンスを示します。

- ワークステーション
 - OpenLab CDS ChemStation Edition コアライセンス 1 個
 - 必要に応じた機器ライセンスとアドオンライセンス。1 台のワークステーションで最大 4 つの 2D LC または GC 機器を実行することができます。
- ネットワークワークステーション
 - OpenLab CDS Shared Services Server ライセンス 1 個
 - 各ネットワークワークステーションに OpenLab CDS ChemStation Edition コアライセンスを各 1 個。複数のネットワークワークステーションを OpenLab CDS Shared Services Server に接続できます。
 - 必要に応じた機器ライセンスとアドオンライセンス。1 台のネットワークワークステーションで最大 4 つの 2D LC または GC 機器を実行することができます。
- 分散システム
 - OpenLab CDS Shared Services Server ライセンス 1 個または OpenLab Server ライセンス 1 個
 - 各機器コントローラ (AIC) マシンに OpenLab CDS ChemStation Edition コアライセンスおよび AIC アドオンライセンスを各 1 個。サーバーに接続する各 AIC に AIC ライセンス 1 個が必要です。
 - 必要に応じた機器ライセンスとアドオンライセンス。1 台の AIC で最大 10 台の 2D LC または GC 機器を実行することができます。

Agilent 以外の他社の機器をコントロールするには、他社の機器用のドライバーライセンスに加え、Agilent 機器コントロールライセンスが必要となります。他社の機器用に利用できるドライバーライセンスの一覧を、『サポートされる機器とファームウェアガイド』に記載しています。

Agilent 機器には、機器コントローラライセンスと Agilent ドライバーライセンスが常にバンドルされています。これらのライセンスは、ライセンス管理では 1 個の製品ライセンスとして示されます。これらのアイテムはライセンスファイルの中でのみ、別々のラインで表示されます。

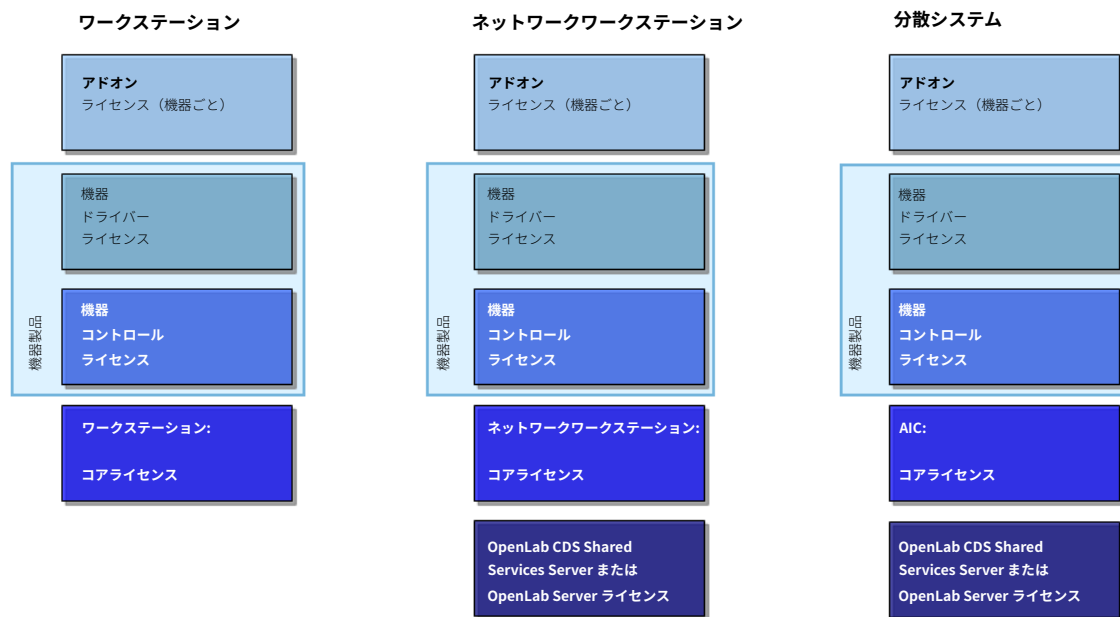


図 8 ライセンス方式

Flexera ライセンスマネージャ

Shared Services では、Flexera 製の FlexNet Producer Suite を使用してライセンスを管理しています。必要コンポーネントは、OpenLab CDS Shared Services と共にデフォルトでインストールされています。ライセンスサーバーはローカル PC または Shared Services サーバーとなります。

Shared Services のライセンスを管理するには、追加の Windows サービスを実行する必要があります。この Windows サービス名は、Agilent OpenLab License Server です。このサービスは、ライセンス管理を行うサーバー上で実行する必要があります。機器は、起動する度にライセンスサーバーサービスにライセンス取得のリクエストを出します。つまり、このサービスを実行している場合のみ機器を起動することができます。

ライセンスアップグレード

アップグレード済みライセンスファイルの取得

OpenLab CDS ChemStation Edition の次のバージョンへアップグレードする前に、SubscribeNet でライセンスをアップグレードする必要があります。コアソフトウェアを**アップグレードする前に**ワークステーションのライセンスをアップグレードすることを強くお勧めします。新しいライセンスなしでスタンドアロンワークステーションを新しいバージョンのコアソフトウェアにアップグレードした場合、そのワークステーションは、OpenLab コントロールパネルに新しいワークステーションライセンスが追加されるまでは機能しません。

SMA を契約している場合は、次の手順でライセンスをアップグレードできます。

- 1 以下のプロセスで、OpenLab CDS ChemStation Edition がインストールされているワークステーションのホスト名または MAC アドレスを SubscribeNet に入力するよう要求されます。
ホスト名および MAC アドレスを取得するには、コントロールパネルを開き、**【管理】 > 【ライセンス】** セクションへ移動します。ホスト名を記録し、**【MAC アドレスのコピー】** または **【MAC アドレスの保存】** 機能を使用して MAC アドレスを取得します。
- 2 Agilent Electronic Software and License Delivery (<https://agilent.subscribe.net/>) にログインします。

- 3 **[Manage License by Host]** に移動します。 **[Host ID]** フィールドで、事前に確認した MAC アドレスを入力し、 **[Search]** をクリックします。

Software	Electronic Software and License Delivery
Product List	
Product Search	
Entitlements	
Licenses	Manage Licenses by Host
Register Authorization Code	Manage Licenses by Host provides a convenient way to upgrade or return all licenses for a license server. For nodelocked license Hosts, licenses can only be returned as upgrades do not apply.
Generate or View Licenses	Please select a host by entering the Host ID or Host Name in its search field, or select a host from the pull-down list. You can use * as a wildcard value.
View Licenses by Host	
Manage Licenses by Host	
Administration	
Account Members	
Change Password	

Host ID

Host Name

What is my Host ID?

該当するホスト名が表示されない場合、複数の SubscribeNet アカウントでライセンスを管理している可能性があります。これらのアカウントにログインして、ワークステーションライセンスをアップグレードする必要があります。

- 4 ライセンスをアップグレードする資格がある場合、 **[Upgrade All]** ボタンが表示されます。これが表示されないときは、Agilent の営業担当者にご連絡いただき、ソフトウェアメンテナンス契約（「[営業およびサポートのお問い合わせ先](#)」 31 ページ を参照）を更新する必要があります。アップグレードライセンスを作成するときは、 **[Generate]** ボタンをクリックしてください。
- 5 **Upgrade All Licenses for License Host** ページで、データを見直し、 **[Upgrade All]** をクリックして確定します。

これによりライセンスファイルが最新バージョンにアップグレードされます。SubscribeNet からお客様に、新しいライセンスファイルの添付された電子メールが送信されます。

- 6 システムに新しいライセンスファイルを追加します（「[システムへのアップグレード済みライセンスファイルの追加](#)」 29 ページを参照）。
- 複数のスタンドアロンワークステーションを使用している場合、各ワークステーションでこの手順を繰り返します。
- 各ワークステーションの MAC アドレスがファイル名であることにご注意ください。これはワークステーションのコントロールパネルでインポートするライセンスファイルを正しく特定できるようにするためです。

システムへのアップグレード済み ライセンスファイルの追加

追加の機器コントロールやクライアントライセンスなど、新しいオプションをご購入いただき、SubscribeNet でライセンスを再作成した場合には、アップグレードライセンスファイルをシステムに再適用する必要があります。

- 1 ライセンスをインストールしたいシステムに接続されているマシンから、コントロールパネルを起動します。
- 2 **【管理】 > 【ライセンス】** の順に選択します。
- 3 リボン内の **【ライセンスの削除】**  をクリックします。
- 4 リボン内の **【ライセンスの追加】**  をクリックします。
- 5 SubscribeNet のライセンス作成プロセスで保存したライセンスファイルを参照して開きます。
- 6 以下の Windows サービスを再起動します。
 - **Agilent OpenLab License Server**
 - **Agilent OpenLab Licensing Support**

3

付録

営業およびサポートのお問い合わせ先 31

営業およびサポートのお問い合わせ先

営業およびサポートのお問い合わせ先については、以下のウェブサイトを確認してください。

<http://www.chem-agilent.com/contents.php?id=1001827>

本書の内容

このマニュアルでは、OpenLab CDS
ChemStation Edition のシステムトポロジと
ライセンスのコンセプトについて説明しま
す。

www.agilent.com

© Agilent Technologies 2019

Published in Germany
04/2019



M8305-96030

